明日も平和に

沖縄県立開邦中学校三年 瀬川 万智

ある日 ふと考えた
もし今爆弾が落ちてきたらどうしよう
今食べ物が無くなったら
今家が消えたら 学校が爆発したら
今家族が死んだら 友達と会えなくなったら
私はどうする？

学校で習った
昔戦争があったんだって
学校の近く 毎日歩く通学路は
激戦区だったんだって
八十年前 ここで 必死に生きた人がいた
大切な人を失い 孤独と戦った人がいた
生きるために 大切な人を殺した人がいた
苦しみと恐怖に 怯えた人がいた
毎日のように 空襲があった
食べ物がなくて 飢えていた
一面が野け野原 見なれた故郷は どこに
もなかった
兵隊さんが 国のためと信じ 命をかけて
戦っていた
沢山の人が涙を流した
沢山の人が血を流した そして
沢山の人が 死んだ
壕の中で息を殺す 声を出してはいけない
見つかってしまうから
見つかったら 殺されてしまうから
死にたくない
あの時 確かに生きていた 誰かの心の叫
びを 私たちが伝えよう
まだ生きたい
あの時 確かに生きていた 誰かが縫った
未来を 私たちが叶えよう
生き抜いてくれて ありがとう
希望を捨てずにいてくれて ありがとう
なんのために 私たちは生きるのだ
守り継がれたこの命
目の前に 青い 青い 空が広がる
八十年前は 見えなかった
あの時 この空には 何が映っていた？
同じ場所 たしかにここで 戦争は起きていた

戦争は怖い 日常を奪う
朝 目覚ましの音で起きる
窓の外には 街の風景が広がる
学校で勉強する 友達と愚痴を言い合う
ただいま おかえり 何気ない言葉
家族と食べる あたたかいご飯
眠い目をこすり 課題を終わらせる
明日は何をしようか 考えながら眠る
でも 明日って 本当にあるんだろうか
私たちは 明日が来ると 信じて疑わない
気付いていないのだ 今が当たり前ではな
いことに
戦争で 一瞬で壊れるということに
当たり前ではない 今 私は生きている
何百万人の命の上に 生きている

戦争を起こしたのは 人間だ
戦争を終わらせたのも 人間だ
みんな 人間だったのだ
生きていた ただひたすらに 息をしていた
私も人間だ
なににもなれる人間だ なんでもできる人間だ
また 戦争を起こすのか
また 悲劇を繰り返すのか
違う 私たちがすべきこと
戦争を語り継ごう
もう二度と 戦争を起こさないように
人間は学んだのだ 戦争の残酷さを
平和を守り継ごう
未来で 命が消えないように
未来も 幸せに生きられるように
人間は知ったのだ 平和のあたたかさを
平和を繋ごう
今日から明日へ 明日からその先へ

今日も 大好きな人が微笑む その一瞬で
私の世界は 明るくなる
幸せの 明かりが灯る
世界中に 明かりを灯そう
明日も 世界が平和でありますように
明日も あなたの笑顔に会えますように